

「バネづくり」の匠へ 向上心あふれる人材の育成を



△ベルト式旋盤の作業風景

フセハツ卒業生の 独立をバックアップ

創業は昭和21年。創業者の作田忠雄氏が、近隣のバネ屋から「バネ」を仕入れて金物と一緒に売ったところ、それがたちまち売れた事がきっかけで自宅に「バネ作」の看板を掲げたのが同社の始まり。25年には朝鮮戦争が勃発。特需で増えた受注量をこなすため、新たに工場を建設、(株)布施発條工業所を設立した。

30年以降、独立心旺盛な社員の独り立ちを支援しようと、忠雄氏は工場設備や仕事、事業資金の世話をした。「あの方の度量の深さと包容力のお蔭で、独立を果たすことが出来た」とフセハツ卒業生は口を揃える。

平成5年、2代目社長の為宣氏の急死を受け、その卒業生である吉村健一氏が3代目に就任。「ヤマト発條製作所」との合併や、営業部門・生



▶ 1万種類以上に及ぶバネ

産体制の再構築、人材育成に注力。

「経営の刷新が功を奏し、9年には「フセハツ工業(株)」に改称した。

26年、吉村篤氏が4代目に就任。

採用基準は社長になりたいと 発言できる向上心の持ち主

同社の体質が「やや商社的」と感じていた同氏は、事業の軸をもどくりに回帰。1個のバネの試作から何百万個の量産まで対応。また、顧客と共に考え、生産工程の効率化まで全面的にサポートできる体制を構築した。同時に若手社員の採用や育成にも意欲を燃やす。「採用基準は、ものづくりが大好きで、社長になりたいと発言できるような向上心の持ち主です」。

フセハツ工業株式会社
〒577-0046
東大阪市西堤本通西 1-
3-43
TEL : 06-6789-5531
<http://www.fusehatsu.co.jp/>
代表取締役 吉村 篤